

競技会 (World Robot Challenge 2018)



- 4カテゴリーで、9種目の競技を実施※1
- World Robot Challenge 2018の賞金総額は、1億円以上※2を予定。

カテゴリー	種目	競技内容	賞金
ものづくり	製品組立チャレンジ	ベルトドライブユニット組立及びそれに関連するタスクボードとキット	2,100万円 (1位：1,500万円、2位：500万円、3位：100万円)
サービス	パートナーロボットチャレンジ (家庭内の各種作業支援チャレンジ) リアルスペースリーグ トヨタ自動車株式会社のHSR使用	1.モノを取ってくる 指示された物体を指定された場所に持ってくる 2.部屋の片づけ 正しくない位置にあるモノを指定された場所に片づける 3.デモンストレーション 人を安心・幸せにしてくれるパートナーロボットの未来の姿を提示する	1,400万円 (1位：1000万円、2位：300万円、3位：100万円)
	パートナーロボットチャレンジ (家庭内の各種作業支援チャレンジ) バーチャルスペースリーグ トヨタ自動車株式会社のHSR使用	1.汎用目的サービスロボット 案内や対話等のタスクにロボットが対応 2.インタラクティブ清掃 ロボットが人間の所作を観察し、対象物とゴミ箱を認識 3.ヒューマンナビゲーション バーチャル環境で、利用者が目的物を見つけられるように、ロボットが案内 4.オープンタスク シミュレーターを使用し、人とロボットが多様な手段を用いてコミュニケーション等を行う	1,400万円 (1位：1000万円、2位：300万円、3位：100万円)
	フューチャーコンビニエンスストアチャレンジ (店舗における各種業務の自動化チャレンジ)	1.陳列・廃棄タスク おにぎり、お弁当などの自動補充、消費期限切れ商品の廃棄を実施 2.接客タスク 近未来の顧客サービスの提案と実演 3.トイレ清掃タスク トイレの便器、床、壁の清掃	1,390万円(1位の中で優れた者に+100万円) 陳列・廃棄タスク (1位：300万円、2位：100万円、3位：30万円) 接客タスク (1位：300万円、2位：100万円、3位：30万円) トイレ清掃タスク (1位：300万円、2位：100万円、3位：30万円)
インフラ・ 災害対応	プラント災害予防チャレンジ	日常点検／設備調整：指定された場所にあるバルブ等を視認・調整 異常検知：発生場所が不明なパイプラインの異常音・振動を測定し、結果を報告 設備診断：タンクや煙突などの大規模構造物を対象とし、設備の健全性を診断 災害対応：点検中に発生した事故への対応	1,400万円 (1位：1000万円、2位：300万円、3位：100万円)
	トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ	障害の走破、車両調査、道具を使用した車両内の調査と救助、経路の確保、消火作業、人命救助活動の6タスク	1,400万円 (1位：1000万円、2位：300万円、3位：100万円)
	災害対応標準性能評価チャレンジ	災害予防・対応で必要となる標準性能レベルを評価(例：移動能力、センシング、情報収集、無線通信、遠隔操作、現場展開、耐久性、など)	1,400万円 (1位：1000万円、2位：300万円、3位：100万円)
ジュニア	スクールロボットチャレンジ ソフトバンクロボティクス株式会社の Pepperを使用	1.スキルチャレンジ 2.オープンデモンストレーション 競技者がロボットのデモを行う 3.テクニカルインタビュー 審査員が競技者に面接を行う	無し※3
	ホームロボットチャレンジ	家庭内における物の移動等のタスクを設定し、ロボットを製作 スキルチャレンジ、オープンデモンストレーション、テクニカルインタビューに挑戦	

※1 2020年の競技内容については、現時点での想定であり、技術の進歩やWorld Robot Challenge 2018での実施結果等も踏まえて確定。

※2 競技の結果、一定の水準に達していない場合は、該当無しとする場合がある。

※3 賞金は設定せず、賞品等を授与する予定。